

2023 としまかんの あれこれ ブックガイド

パート 27

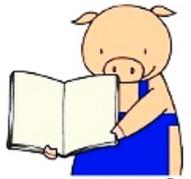


1・2年生むき



いるましりつとしまかん ☎2964-2415

ホームページアドレス <https://lib.city.iruma.saitama.jp/>



1・2年生のみなさんに、
ひとりで無理なく読めるような
本を選びました。

さまざまなテーマの本は、好奇心を広げ、
読むことの楽しさを教えてください。

どうぞ、お気に入りの1冊が
見つかりますように！



「やまの動物病院」 どうぶつびょういん

なかがわちひろ/作・絵

徳間書店 ものがたり《なかが》



小さなまちはずれの山のふもとにある“まちのどうぶつびょういん”。そこには、やさしいまちの先生と、ねこのとらまるがくらしていました。じつは、このびょういんにはひみつがあります。それは、よるになると“やまのどうぶつびょういん”にかわり、けがやびょうきでこまっているどうぶつたちがやってくるのです。先生はなんと…とらまる！？

おいしゃさんとしてどうぶつたちをたすけるとらまるがキリッとカッコいい、すてきなおはなしです。

「おにぎりをつくる」

高山なおみ/文

長野陽一/写真

ブロンズ新社 《596》



さあ、ほかほかおいしい
おにぎりをつくりましょう。

おこめと、水と、しおがあれば、じゅんぴかんりょう！おこめをふくらたきまして、たけたらりょうてでにぎにぎ…。大きいおにぎりも、小さいおにぎりも、手づくりするとおいしいね。

この本をよめば、だれでもかんたんにおにぎりがつくれるようになるかもしれません♪おうちのひとをびっくりさせちゃおう！

「やまだめいたちのえにっき」

山田美津子/さく

理論社 ものがたり《やまだ》



めいちゃんはえにっきのしゅくだいがおわらずにこまっています。「どこにもいってないし、なにもしなかったし、かくことがないもんなあ」「あーあだれかかわりにかいてくれないかなあ」といってねてしまいました。しゅくだいをわすれたゆめをみてとびおきためいちゃんはビックリ。えにっきがかいてあります。いったいだれがかいたのかしら。なんでもないとおもっていた日なのに、じつは、たくさんのできごとがかけていたよ。めいちゃんは、えにっきになにかをかけたのかな？

「えんどうまめばあさんとそらまめ

まいにち
じいさんのいそがしい毎日

まつおかきょうこ/げんあん・ぶん

ふりやなな/ぶん・え

福音館書店 えほん《ふ1》



小さいえにえんどうまめばあさんとそらまめじいさんはくらしています。

はたらきもののふたりは、あさからばんまでまめまめしくはたらきますが、こまったことにやりたいことがみつかるまへのしごとをほっぽってつぎのしごとをはじめてしまうのです。でも、そのくらしはいそがしいのにとてもたのしそう…。

ふたりの1日がユーモラスにえがかれたおはなしです。

「おもちゃ屋のねこ」

リンダ・ニューベリー/さく

田中薫子/やく くらはしれい/え

徳間書店 ものがたり《ニュー》



ある日ハティがテオおじさんのおもちゃやにやってくると、あざやかなみどりいろの目をしたねこがいました。テオおじさんはそのねこに「クルリン」というなまえをつけて、あずかることにしました。その日からふしぎなことがつぎつぎとおこります。

クルリンがおみせにただで、おもちゃがとぶようにうれます。クルリンにはなにかとくべつなおきやくさんのところをつかむみつがあるのかも…。まわりの人をシェアせにしてくれるところあたたまるおはなしです。

「クリスティーナとおおきなほこ」

パトリア・リー・ゴーチ/作

ドリス・バーン/え

おびかゆうこ/訳

偕成社 えほん《か1》



クリスティーナはほこが大好きです。ある日、いえにあたらしいれいぞうごとどきました。そのあきばこは、じぶんのからだかすっぽり入ってしまうほどの大きさです！おとうさんにまどやとびらをつくってもらうと、大きなほこはおしろになりました。ともだちのファッツもくわわって、ほこはひみつきちになりました。そのつぎは…？

はやくほこをかたづけてしまいたいおかあさんとのやりとりもたのしいえほんです。

「うりこひめとあまんじゃく」

堀尾青史/作 赤羽末吉/絵

BL出版 えほん《ふ5》



うりこひめは、うりから生まれた女の子。やさしいばさまとじさまといっしょに、げん気にくらしていました。

ところがある日、いたずらもののあまんじゃくがあらわれて、うりこひめたちをこまらせます。うりこひめがおよめにいくだいじな日にも、あまんじゃくはやってきて、なにやらわるだくみをはじめました。はたして、うりこひめはどうなってしまおうのでしょうか？

「ごろりんたまねぎ」

いわさゆうこ/さく

童心社 えほん《と2》



おうちのごはんやきゅうしょくで大かつやくのたまねぎ。でも、たまねぎってどんなふうにしだつのかな？みんなもしらずにみている、はたけのみどりのはっぱ。じつはたまねぎだったんです！

この本はほかにも、たくさんのたまねぎのなかがしゃしんのようにリアルにえがかれていて、とてもみりよくてきです。

「どーんとやさい」シリーズはほかにもいろいろなやさいがあるので、ぜひよんでみてください。

「こんとごん」

織田道代/ぶん

早川純子/え

福音館書店 えほん《ふ1》



2ひきのきつねが、てんてんありとてんてんなしのことばのふしぎなせかいにまよいこむ、ことばあそびえほんです。

てんてんがあるかないかでことばのいみがぜんぜんちがうようすが、わかりやすくえがかれていて、にほんごのたのしさがいっぱいです。

ほかにはどんなことばがあるか、しらべてみたくなりますね。

「かみなり」

武田康男/監修・写真

小杉みのり/構成・文

岩崎書店 《451》



ゴロゴロ。ドーン！空がきゅうにくらくなって、かみなりがおちてきます。なつになると、大きなくもからかみなりの音がきこえてきます。ぴかっとひかっているのを見ることもあります。

かみなりはどこで、どうやってうまれるのでしょうか？この本にはかみなりがうまれるまえから、かみなりがきえるまでのようすがかかれています。しゃしんを見ながら、かみなりのようすをかんさつしてみましよう。